

三鷹市立第五中学校 令和5年度【 英語 】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○家庭学習への意識の差がある。家庭での学習の習慣が身につけていない生徒も多い。</p> <p>○適切な英語ではないが習った表現を使おうとする姿勢が身につけている生徒はいる。</p> <p>◎辞書やタブレット等を活用して、分からないところを自分で解決しようとする生徒は少ない。</p> <p>◎授業中にノートやプリントを活用しきれていない。</p>	<p>○意欲的に授業に取り組む生徒が多いが、学習内容についていけず、学習意欲を失っている生徒もいる。</p> <p>○小学校での英語学習への取り組み方や成果が、現在の学習意欲に影響を与えている。</p> <p>○4技能のうち、「書く」「話す」ことに苦手意識をもっている生徒が多い。アルファベットを書けない生徒が当初は多く見られた。</p>	<p>○低習熟度層への支援。補習教室の設定、学習者同士の教えあい、テストでの丁寧なフィードバック、などの工夫をする。</p> <p>○小学校で行っていた言語活動（ゲーム的な活動や表現活動）を引きつづき授業に取り入れ、継続的な「学びなおし」の機会を与えることで、苦手意識を払拭させ、高い意欲を継続させる。</p> <p>◎「書く」活動や「話す」活動を自己表現に向けて段階的に活動を設定する中で、学習者の「わかる・できる」という感覚を得られるようにする。また、フィードバックと次回に向けた目標設定を具体的にすることで、徐々に苦手意識を払拭し、主体的に書き、話すことのできる生徒を育てる。</p>
第2学年	<p>○補習教室の実施や考査後の振り返りをさせることで、生徒が自らの課題を把握させることができた。</p> <p>○クイズやゲーム形式などの、小学校から親しみのある言語活動を積極的に授業に盛り込み、高い意欲をもたせることができた。</p> <p>○課題をレベル別に明確に設定することで、個人の力に応じた課題に主体的に取り組む生徒が増えたが、全員ではない。</p>	<p>○学習の習熟度に関きが見られ、主体的かつ意欲的な生徒とそうでない生徒との、学習に取り組む姿勢に差が生じている。</p> <p>○話す活動において、例文やモデルスピーチの形通りである程度できるものの、アレンジを加えたりオリジナリティのあるスピーチや会話ができる生徒が少ない。</p> <p>◎書く活動については、単語や文法を正確に運用して文章を作成することを苦手としている生徒が多い。苦手意識から、間違いを恐れて書こうとしない生徒が増えている。</p>	<p>○低習熟度層へのより丁寧な支援。中～長期的な視点からスモールステップで課題を設定し、基礎内容の反復練習の時間を設ける。生徒自身に振り返りをさせ（セルフフィードバック）、課題と目標を定期的にもつ機会を与える。</p> <p>○生徒同士にアイデアを共有させ、かつお互いのスピーチを見合う機会を増やすことで、間違いを恐れず堂々と話すことのできる生徒の主体性を伸ばす。</p> <p>◎「書く」活動や「話す」活動において、自己表現に向けて段階的に活動を設定することで、学習者のレベルに応じた達成感を与える。単語や文法運用の初歩的なミスは時間を置かずすぐに訂正することで、正確なライティング能力を育てる。</p>
第3学年	<p>○疑問点について、自分で解決する姿勢を定着させるため、各生徒に合った助言を与えつつ自分で解決するように指導をし、生徒もそのような姿勢を持つようになった。</p> <p>○自主学習・家庭学習の習慣化を図るため、ノートを作ることによって自分の理解度を把握し、足りない学習を自分で見つけ、それを自主学習させた。ノート点検を年5回行い全員が自主学習を行うよう指導をし、85%の生徒が自主学習を行うようになった。</p>	<p>○内容を理解しようと授業に意欲的に取り組む。</p> <p>○疑問点は臆さず教員に質問して解決しようとする生徒が多い。</p> <p>○問題集などに反復して取り組んで、内容を覚え込むことが不足している。</p> <p>○基本的な文型の理解が未だに不足している。</p>	<p>○文法事項を知識として習得していても、それを活用して英語の文として発話や記述する力が弱いので、問題集を最低でも3～4回は反復するよう継続して指導していく。</p> <p>◎自主学習・家庭学習をさらに促すため、授業中に新しく学んだ内容・学習したが忘れていたことなどの自主学習で学習すべき重要点をノートに記録するよう指導する。それによって自分の弱点を効率的に補強させる。ノート点検を昨年度から引き続き年4回行い全員が自主学習を行うよう継続して指導をする。</p> <p>○基本的な文型の理解の不足は、文型の授業を、すでに行った1回に加えてあと2回ほど反復して行い、理解を目指す。</p> <p>○「三鷹市小・中一貫カリキュラム」と照らし合わせて定着率をさらに上げたい学習内容について、生徒へ反復指導を行う。</p>